

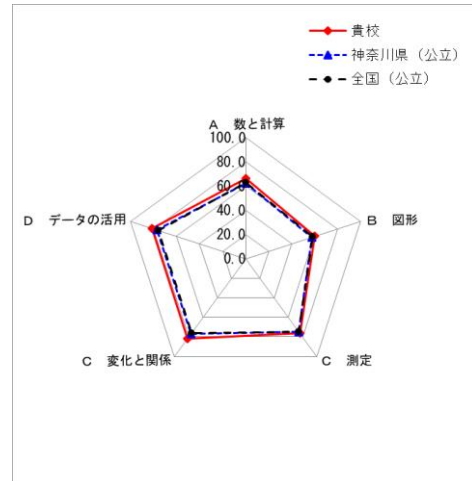
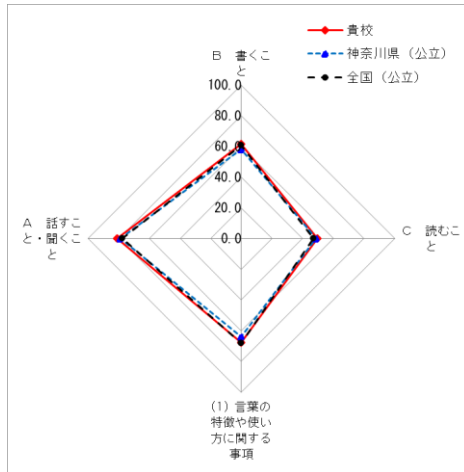
令和3年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 中丸小学校の結果と分析

令和3年5月27日に6年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の各教科に関する結果をお知らせします。

国語・算数ともに、正答率は全国平均よりも高い状況が見られました。

【国語】+1.3（本校：66 全国：64.7）

【算数】+3.8（本校：74 全国：70.2）



国語

- ・国語に関しては、【思考力,判断力,表現力等】が全国平均を上回っています。(本校：64.3 全国：62.1)
【思考力,判断力,表現力等】を見取る「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」の全評価項目が全国平均を上回っています。文章に対して、表面だけの読み取りではなく、深い読み取りを行ったり、考えたことを表現したりするように意識して取り組んだ結果だと考えます。
- ・課題は、【知識及び技能】を見取る、「言葉の特徴や使い方」です。(本校：67.6 全国：68.3)
普段から家庭学習として、書く習慣は身に付いてはいますが、それが使える知識となっていないと思われる。汎用性のない知識で留まってしまっているところを改善していくために、家庭学習の取り組み方等を見直していく必要があると考えます。

算数

- ・算数に関しては、【知識及び技能】、【思考力,判断力,表現力等】の全評価項目が全国平均を上回っています。領域で見ても、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全領域とも全国平均を上回り、大きく苦手な領域は見られませんでした。
- ・特に「変化と関係」と「データの活用」に関しては、全国平均よりも約5.5ポイント上回っています。
（「変化と関係」本校：81.5 全国：75.9 ，「データの活用」本校:81.4 全国:76.0）
普段の授業から、学習したことを算数の授業の中で閉ざすのではなく、日常の生活に結び付けて考えよう意識して取り組んでいることが、この結果に結びついていると考えられます。
- ・課題は、《数学的な考え方》です。除法（わり算）の性質に関して成り立つ性質を問う問題では、全国平均を下回ります。また、無答率も高いです。(本校：5.4 全国：1.7)
普段の授業でも、課題を理解し、今まで学習した内容を生かして立式し、解答まで出すことが苦手な子が多いです。問題解決する過程を、自分の言葉で筋道立てて、友達に丁寧に説明するような授業を進めていくようにしていきます。